

# 「第2期宮崎県歯科保健推進計画」 目標項目とデータの推移

## 歯科医療体制の整備等

### 支援が必要な方への歯科保健医療の推進

年度		1998 H10	2004 H16	2011 H23	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2023 目標値	(単位)	全国値	国の目標値* (令和4年度)
障がい児者の一人平均むし歯本数を減少させる	12歳	—	2.54 <sup>*1</sup>	2.02 <sup>*2</sup>	0.97 <sup>*2</sup>	1.12 <sup>*2</sup>	0.45 <sup>*2</sup>	0.8	0.6	0.8	(本)	—	—
障がい児者のむし歯を持たない者の割合を増加させる		—	26.9 <sup>*3</sup>	41.9 <sup>*2</sup>	50 <sup>*2</sup>	51.8 <sup>*2</sup>	50.3 <sup>*2</sup>	58.1	70.0	65	(%)	—	—
県内全ての地域に障がい児者協力歯科医師の人数を増やす <sup>*4</sup>					57	61	67	76	76	70	(人)	—	—
定期的な歯科健診を実施している高齢者福祉施設の割合を増やす					53.3 <sup>*1</sup>	—	—	—	—	70	(%)	19 <sup>*5</sup>	50
定期的に歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアに関する研修会を実施している高齢者福祉施設の割合を増やす					59.8 <sup>*1</sup>	—	—	—	—	70	(%)	—	—
在宅歯科診療を行っている歯科医療機関の割合を増やす					27.7 <sup>*4</sup>				29.2 <sup>*4</sup>	40	(%)	—	—

\*1 健康増進課調査

\*2 宮崎県の学校における歯科保健統計～歯科疾患等実態調査～

\*3 H16学校保健・安全に関する統計(盲・ろう・養護学校データ)

\*4 宮崎県歯科医師会調査

\*5 H28年厚生労働科学研究

### 医科歯科連携を推進するために必要な体制の整備

年度		1998 H10	2004 H16	2011 H23	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2023 目標値	(単位)	全国値	国の目標値* (令和4年度)
周術期口腔機能管理計画策定料の算定件数を増やす <sup>*1</sup>				1,606 (2015年度)	1,723	1,871	2,092 <sup>*2</sup>	2,923 <sup>*2</sup>	—	3,000	(件)	—	—

\*1 厚生労働省保険局医療課調査

\*2 診療報酬改定により「周術期等口腔機能管理計画策定料」に変更

※国の目標値は  
歯科口腔保健の推進に関する基本的事項